

2022年7月6日第118回BABOK研究会議事録

PM学会中部支部

IIBA日本支部

1. 日時

2022年7月6日(水) 19:00～21:00

2. 場所

Zoom(Web会議システム)

3. 出席者

(敬称略順不同)

中村、新谷、浜口、大橋、山本、小倉、河村、鈴木(記) 以上8名

4. 議題

(1)活動方針に沿った研究会活動

(2)BAサミットについて

5. 議事

(1)活動方針に沿った研究会活動

前回の研究会後に、モデル製造業の本社経営企画が、全事業所長を招集して、プロジェクト管理強化をテーマに、会議を実施した。中村氏もそこに参加し、意見を述べたところ、本社教育部門トップの目に留まり、話を聞いてもらえることになった。そこで、教育部門トップに対し、本当に重要なのはプロジェクトのマネジメント以前に、ビジネスアナリシスであるということ、理解してもらうため、急遽BABOKの資料を作成し、説明した。内容によっては経営企画トップに話を繋いでもらえる可能性もあり、資料をまとめなおすため、本日意見を伺いたい。

今回の資料は、急遽作成したこともあり、BABOKの各知識エリアやタスクに、現状を当てはめて、網羅的に記述した。トップマネジメントは得てしてA4一枚の資料を要求するので、図解的な資料にしてはどうかとの意見が出た。但し、手持ち資料として、全体を押さえておきたいため、一旦レビューしたい。

その中でビジネス要求とは何か、何を記述するかについて、腑に落ちていないとのこと、議論を行った。

山本氏からBABOK-V3説明会資料の、要求分類のスキームを表すページを共有いただき、要求レベルにはビジネス要求、ステークホルダー要求、ソリューション要求、移行要求の4つがあり、ビジネス要求は何故チェンジを開始したかを示すゴール、目標、成果を記述するとの解説をいただいた。また、プロジェクトとビジネスアナリシスの領域を表す図

を共有いただき、領域がプロジェクトと重なっている要求アナリシスとデザイン定義に対し、前段の戦略アナリシスはプロジェクトに先行することを解説いただいた。

今回組織トップに、資料に沿ってBABOKを説明しようとしているが、PMBOKが浸透していない組織に対して、いきなり説明しても、納得されるか疑問。資料の中で、中村氏がPMBOKに沿ってマネジメントした結果、成功した事例を挙げている。そのエビデンスを示し、PMBOKのメリットを納得してもらい、その上で領域図を示してBABOKの位置付けを説明すれば、理解されるのではないか？という提案があった。

A4にまとめて報告する動きは、社内的に進めてゆく。ただ、研究会のテーマは、事例研究なので、BABOKの各知識エリアやタスクに、事例企業の現状を当てはめた、今回の資料の議論を進めさせてほしい。

山本氏から、BABOKの各知識エリアやタスクに、事例企業の課題を当てはめる進め方は、事例研究として良いと考えている。また、PMBOKのように見える化できていないので、その観点からも、研究会で議論できると良いと思う。という意見をいただいた。

今回の研究で、事例企業の全貌を知っているのは中村氏だけなので、議論をスムーズに進行するためにも、資料をSlackで共有していただき、情報共有できるとありがたい。

今回の事例研究を始めた時点からすると、対象企業の中でも、マネジメントを重要視する点で、かなり環境が変わってきたように思う。その点でも研究の方向性は間違いなく、価値があると思うので、このまま進めてゆきたい。

(2)BAサミットについて

2022年8月3日に開催予定のIIBA日本支部主催のBAサミットで、近藤氏が、事例表彰対象研究として、当研究会の活動内容を報告予定。

6. 次回予定

(1) 日程

8月度第一水曜日:8月3日は、他の予定のため中村氏が参加できない。「調整さん」で日程調整し、開催日を決定次第連絡する。

(2) 場所

ZOOM会議室(URLなどは開催案内メールでお知らせします)

(3) 議題

引き続き「戦略アナリシス」を検討する

7. 成果物

成果物は適宜、Slackで共有させていただきます。現在Slackに参加していない方で、共有を希望される方は、お申し出ください。

8. その他

中村氏が宿題を進める上で、良いアイデアや、意見がありましたら、Slackの「[#2022年度研究活動](#)」に遠慮なく意見をお願いいたします。

—以上—